

# ★ワクチン2回接種後の抗体確認

## 新型コロナウイルス抗体検査

を取り扱っております

ワクチン2回接種後にウイルスに対する免疫を  
獲得しているかを血液検査により確認できます

◆検査料金 9,900円(税込)

人間ドック等、採血検査をとまなう健康診断のオプションの場合は  
7,700円(税込)となります。

なお、結果は1週間前後で判明します。

現在の感染を調べるPCR検査・抗原検査ではありませんのでご注意ください。

検査を希望される方は健康管理センターまでお問い合わせ下さい。

電話 :047-485-1986



### 【注意事項】

- 2回目のワクチン接種後、28日経過してからご利用可能です。
- 検査日時点での抗体の有無を調べるものであり、将来にわたりその抗体の有無を保証するものではありません。
- 検査結果が【陽性】であっても、コロナウイルスに感染する可能性はあります。
- 研究用試薬を用いているため診断書・証明書の発行は行っておりません。
- 本検査結果は個人を特定できない方法にて、統計データとして利用する場合があります。
- 結果は郵送となり、医師からの説明はございません。



医療法人社団 恵仁会

セント マーガレット病院



# 新型コロナウイルス ワクチン接種後に抗体検査を受けませんか？

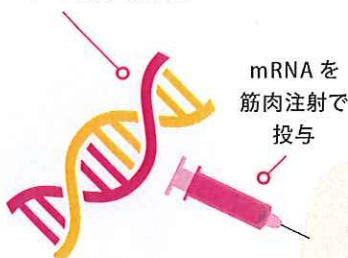
## ワクチン、予防接種とは何ですか？

一般に、感染症にかかると、原因となる病原体（ウイルスや細菌など）に対する「免疫」（抵抗力）ができます。病原体をもとに作られたワクチンを予防接種することで免疫ができると、その感染症にかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりするようになります。※1

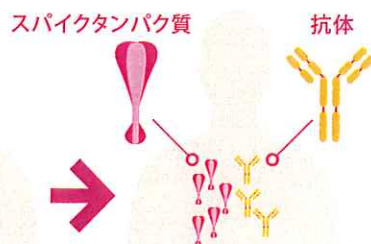
## 新型コロナウイルスのワクチンのしくみ

mRNA（メッセンジャー RNA）ワクチンでは、ウイルスを構成するタンパク質の遺伝情報を投与します。その遺伝情報をもとに、体内でウイルスのタンパク質を作り、そのタンパク質に対する抗体が作られることで免疫を獲得します。※1

新型コロナウイルスの  
スパイクタンパク質を  
コードした mRNA



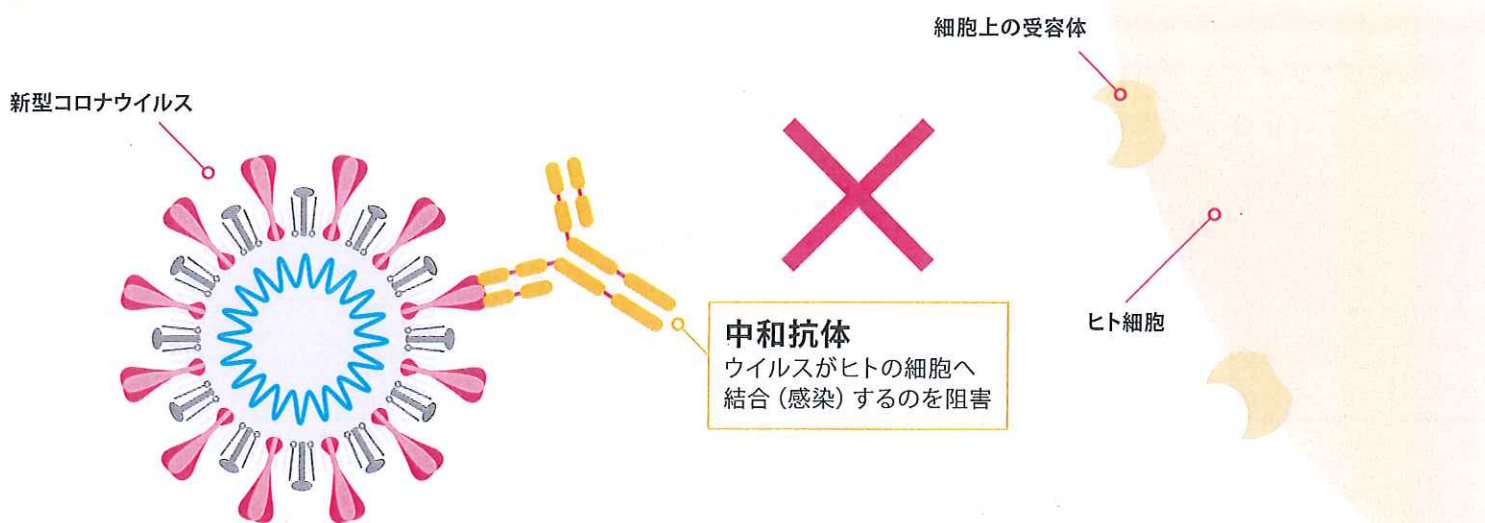
ワクチンが  
スパイクタンパク質の産生を促し  
抗体が産生される



	mRNA ワクチン	不活化ワクチン
仕組み	ウイルスの mRNA を体内に投与。ウイルスのタンパク質を作らせる	感染性をなくしたウイルスを投与する
強み	開発スピードが速い。ウイルスを使わないので生産速度も速い	投与実績があるので安全性が確立している
弱み	投与実績がなく、安全性は未知数。低温での輸送、保管設備が必要	ウイルス培養では、厳重な設備が必要。量産に時間がかかる

# ワクチンを接種して得られる中和抗体って何？

新型コロナウイルスと、ヒトの細胞が結合する箇所を阻害する抗体です。  
新型コロナウイルスへの感染や重症化を防ぐ効果が期待されています。※3

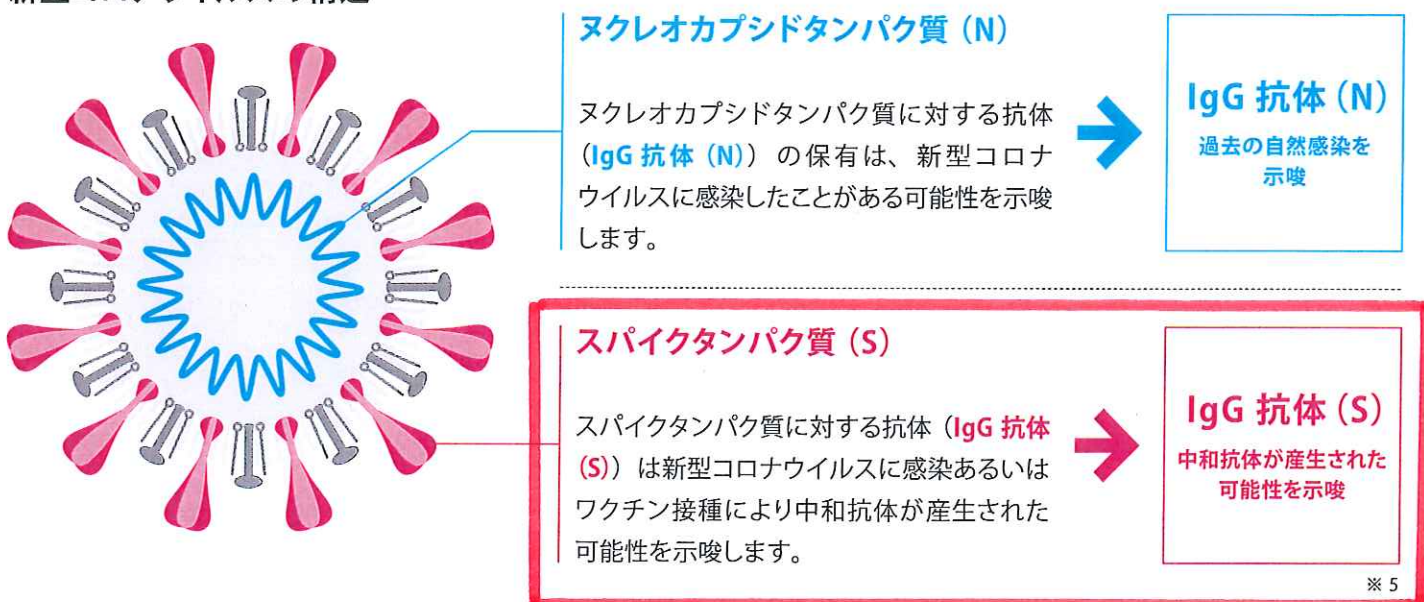


世界中で開発が進む新型コロナウイルスのワクチンは、  
新型コロナウイルス表面のスパイクタンパク質に対する抗体を誘導します。  
中和抗体の活性はスパイクタンパク質に対する IgG 抗体の値と関連すると考えられています。※3, ※4

## 抗体検査で調べられること

抗体はウイルス構造のいくつかの部位に対して産生されます。  
抗体検査では特定のタンパク質に対する抗体をどれくらい持っているのか調べることができます。

### 新型コロナウイルスの構造



出典：※1：厚生労働省 新型コロナワクチンについての Q&A / ※2：Nature 2020; 19:810-812 / ※3：Lancet 2020; 396:467-478 / ※4：N Engl J Med 2020;383:2439-2450 / ※5：Nature 2004; 10:588-597